



《三河朝日会》【夏の便り】

企画展

ポーラ美術館

夢のコラボレーション

日本の二大印象派コレクション ポーラ美術館 VS ひろしま美術館 共同企画

フランス 印象派 記憶への旅



箱根 仙石原に佇む一軒家

アルベルコ

バンブー

イタリア料理



アルベルコ
バンブー

ご出発日 / 2019年7月27日(土)

ご参加費 / お一人様 17,600円(入場料:昼食付)

ご集合場所: 時間 ☐ 東三河出発

☐ 豊橋駅 豊信前 午前7時30分

☐ JR豊川駅 東口 午前7時50分

ご集合場所: 時間 ☒ 西三河出発

☒ 豊田 名鉄トヨタホテル 午前7時00分

☒ 岡崎 名鉄東岡崎南口 午前7時40分

募集人数各45名 催行最少人数 各30名

豊橋 / 豊田 —— 豊川 / 岡崎IC —— 御殿場IC ——
7:30 7:00

—— 箱根 仙石原に佇む一軒家 レストラン【アルベルコ バンブー】 ——
11:30 地元の食材と旬な野菜 本格的イタリア料理 13:00

13:15

ポーラ美術館

15:15

フランス 印象派 記憶への旅 一同に公開73点の名作

● ゴッホ
ポーラ美術館所蔵
グレース橋
1888年



● モネ
ひろしま美術館所蔵
セーヌ河の朝
1897年

—— 御殿場IC —— 豊川 / 岡崎IC —— 豊川 / 岡崎 —— 豊橋 / 豊田 19:30頃

印象派とは...

〔印象 日の出/展示されていません イメージ〕

1872年パリのサロンでモネ「印象 日の出」が発表されましたが、当時の画壇から「印象に残る」と冷笑されました。これが彼らの仲間を「印象派」と呼ぶ由来となりました。当時、産業革命が興り、交通手段や社会が「近代化」へと、どんどん変わっていきました。

絵画では、チューブ入り絵の具が登場。画家たちは「室内から戸外へ」飛び出し、「今を描く」ことをテーマとし活動範囲を広めます。そこで、発見されたのは【光】だったんですね。今回はそんな作家群、ゴッホ、モネ、ピカソ、マチス、シスレー、などの人気画家たちの作品を満喫してください



愛知県知事登録旅行業2-1073号

お問い合わせ: お申込みは

カマタ旅行 有限会社

めざしますゆとり

営業時間 月～金
9:00～17:00
(土日祝休業)

愛知県豊橋市富士見台3丁目25-29

TEL 0532-29-2817

FAX 0532-23-3306

総合旅行取扱管理者 鎌田 保

